

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711
2021年3月30日

各 位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第83回おきぎん企業動向調査」
(2021年1-3月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：野原

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

第 83 回おきぎん企業動向調査(2021 年 1-3 月期)調査結果

～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感～

I. 調査概要

- 本調査では各企業の業況感や経営状況項目などについて、企業経営者の主な判断(当期実績、来期見通し)を景気動向指数 DI として取りまとめる四半期調査です。

【調査時期】2021 年 2 月下旬～3 月中旬

【調査対象】県内企業 544 社回答

【調査内容】①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価⑤採算 ⑥引き合い ⑦雇用 ⑧設備・その他投資需要(第 51 回調査までの「IT 関連投資」と「その他の投資」を統合)

—おきぎんDIとは—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

雇用に関しては、「過剰・適正・不足」でお答えいただき、「不足」はマイナス表示を使用(第 74 回より)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

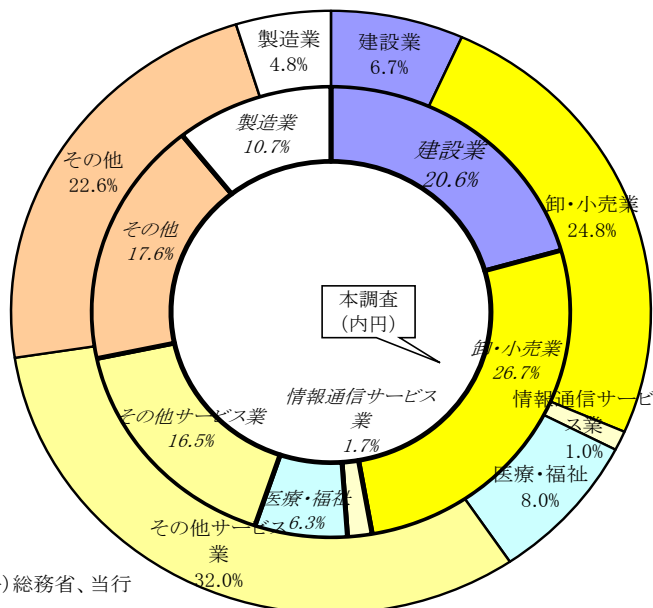
②DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)、と捉えます。

調査対象企業の業種・所在地構成

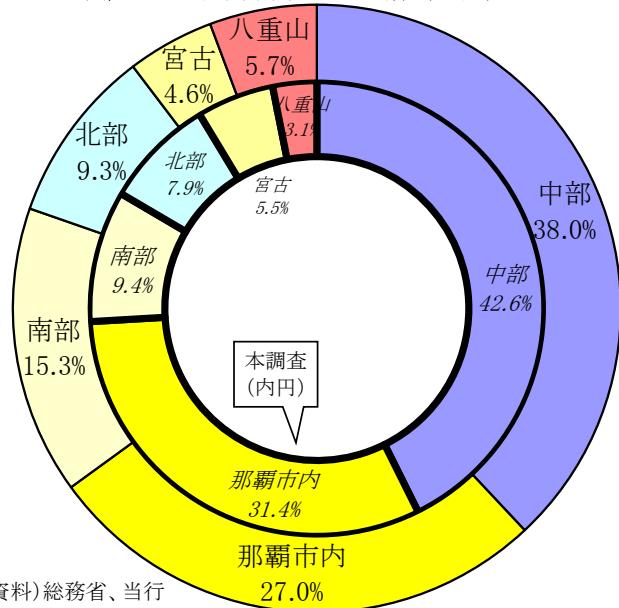
本調査の業種構成を県内事業所データ(2016 年経済センサス活動調査)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】、【卸・小売業】、【情報通信サービス業】、【製造業】はサンプリング数が多く、【医療・福祉】、【その他サービス業(宿泊、飲食等)】、【その他(不動産、運輸等)】はサンプリング数が少なくなっています。また、所在地構成では、中部と那覇市内の合計が全体の7割以上を占めています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料)総務省、当行

県内の事業所数所在地の構成(外円)、
本調査の事業所数所在地の構成(内円)

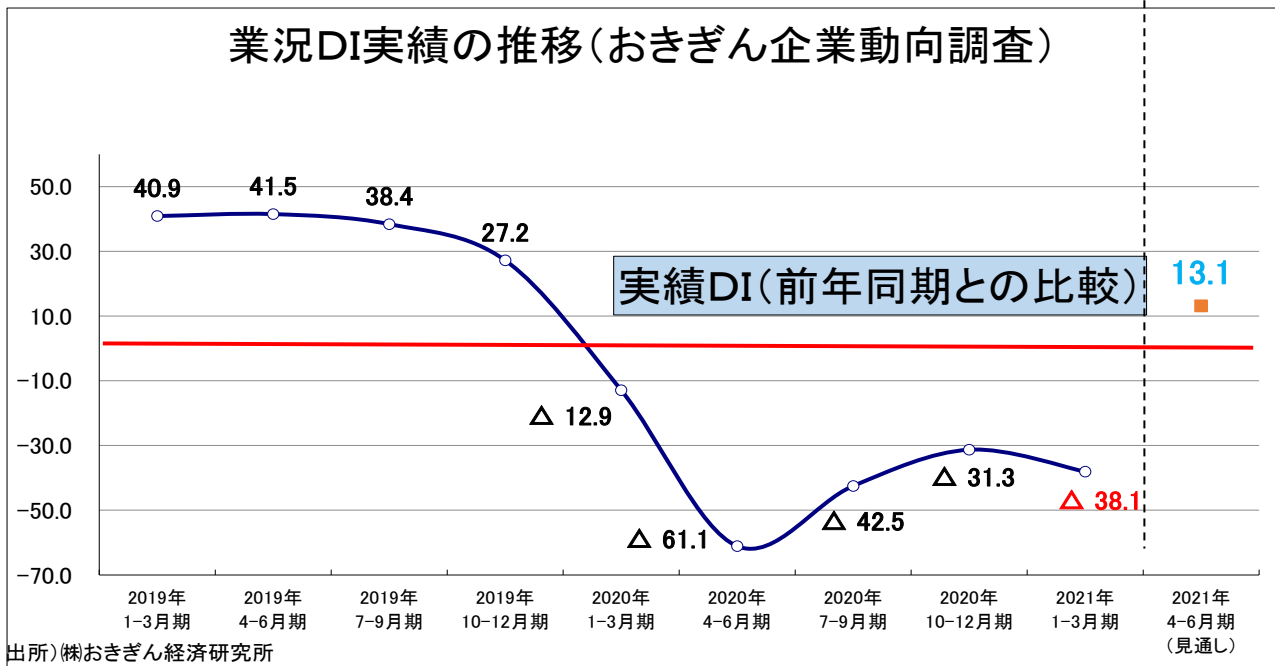


資料)総務省、当行

➤ 調査の結果

当期の業況DIは△38.1（前年同期比）となり、全体として業況の弱さがみられます。前期に引き続き5期連続マイナスとなりました。一方、来期の業況見通しDIは13.1（当期比）となり、前回の見通し（前回調査時の次期見通し：+2.7）に引き続き全体として業況改善の動きが見込まれます。

【業況DIの推移】	2020年				2021年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期見通し
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全業種	△ 12.9	△ 61.1	△ 42.5	△ 31.3	△ 38.1	13.1
製造業	△ 19.5	△ 70.8	△ 61.0	△ 30.2	△ 48.3	17.2
土木業	21.4	△ 6.3	△ 22.2	△ 20.0	0.0	△ 12.5
建築業	21.2	△ 25.5	△ 9.4	△ 3.0	△ 11.5	3.1
卸売業	△ 15.3	△ 70.4	△ 48.1	△ 48.8	△ 39.5	18.5
小売業	△ 18.7	△ 78.8	△ 44.1	△ 33.8	△ 45.3	10.9
情報通信サービス業	12.5	△ 77.8	△ 18.2	△ 9.1	11.1	44.4
医療・福祉	60.9	△ 65.8	△ 34.3	△ 26.9	△ 23.5	14.7
その他サービス業(宿泊・飲食等)	△ 59.3	△ 80.4	△ 75.3	△ 47.1	△ 68.9	15.6
その他(不動産、運輸等)	△ 5.2	△ 58.0	△ 42.1	△ 36.9	△ 39.6	15.6

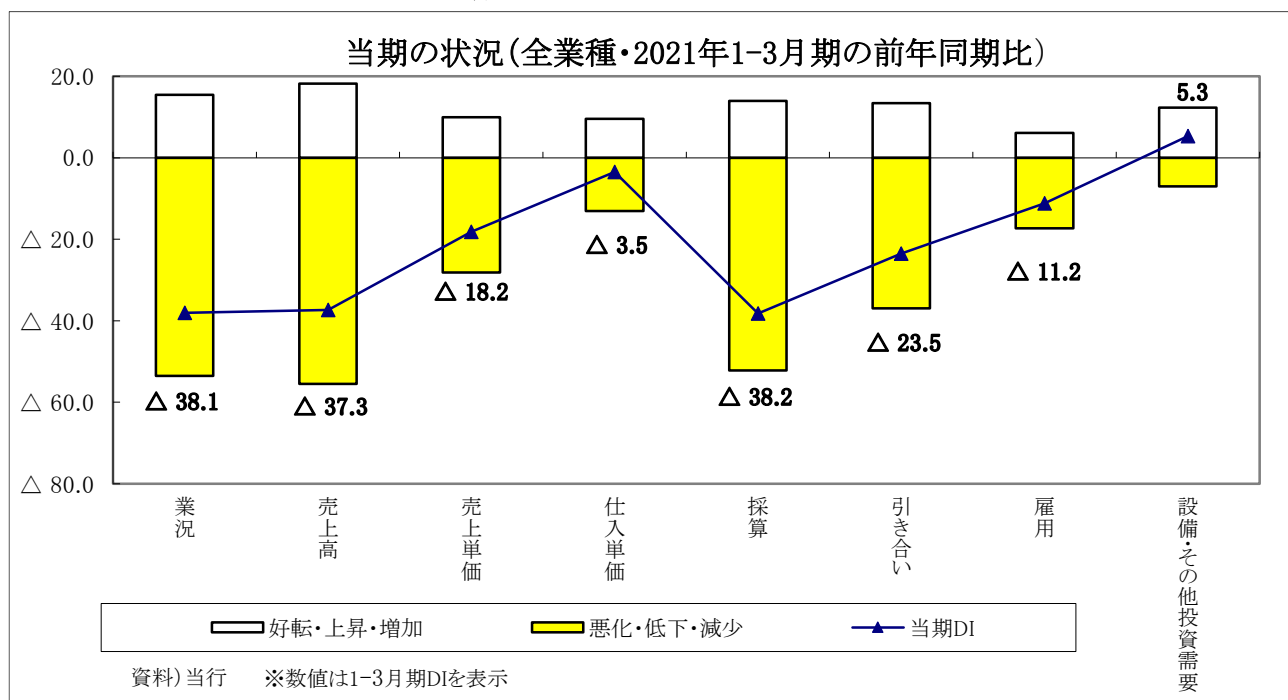


※「2021年4-6月期(見通し)」13.1については、今期(2021年1-3月期)との比較であり、前年同期との比較ではない。このため折れ線グラフは連続していません。

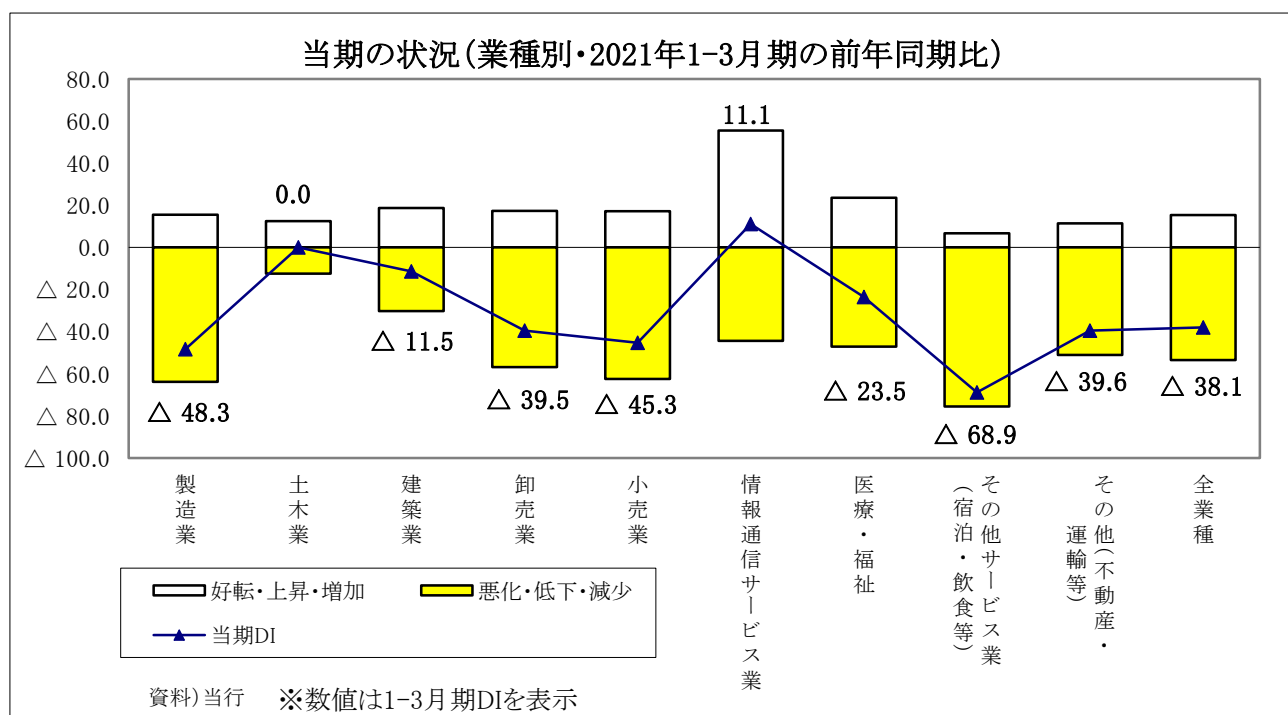
II.調査結果(総論)

1.当期の状況(2021年1-3月の前年同期比)

- ▶ 当期の業況は $\Delta 38.1$ となり、全体的に業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、引き続き観光関連の需要低迷から売上高($\Delta 37.3$)や採算($\Delta 38.2$)、引き合い($\Delta 23.5$)など、ほぼ全ての項目で減少がみられ、業況の弱さがみられます。

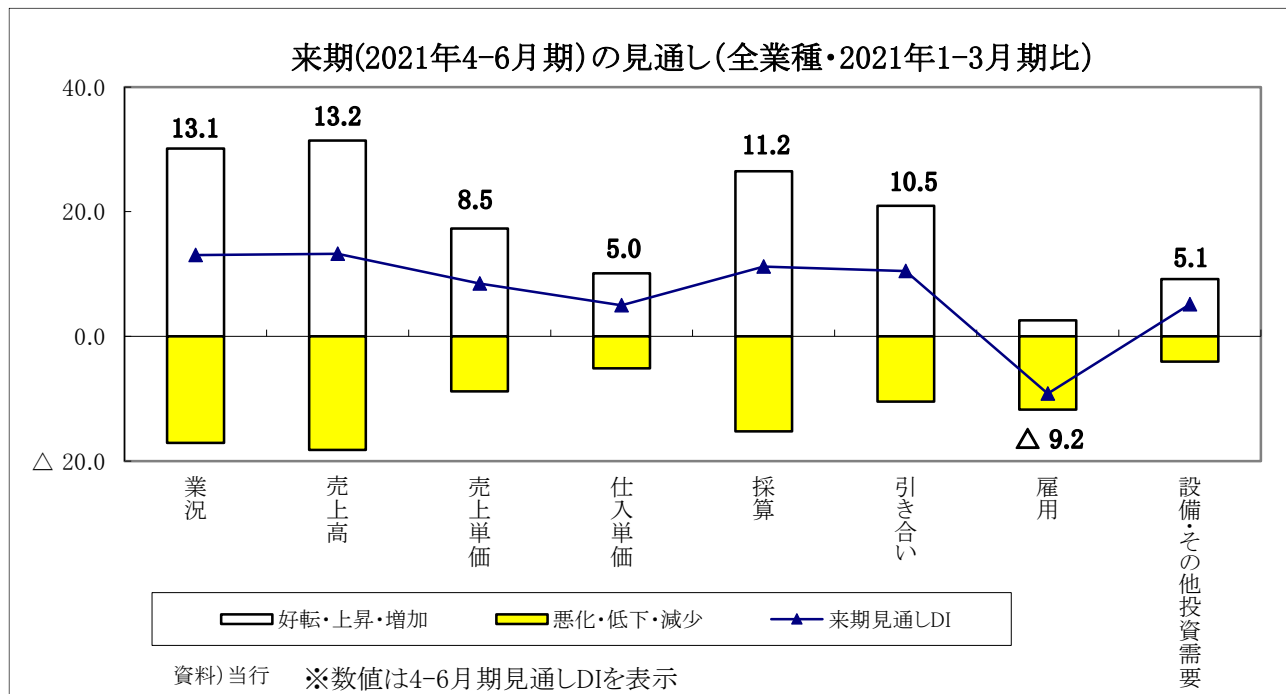


- ▶ 業種別では、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により【**其他サービス業**($\Delta 68.9$)】や【**製造業**($\Delta 48.3$)】、【**小売業**($\Delta 45.3$)】などで全業種DIを下回り、業種全般において業況の弱さがみられます。一方、【**情報通信サービス業**(11.1)】ではネット回線需要の拡大などから業況改善の動きがみられます。

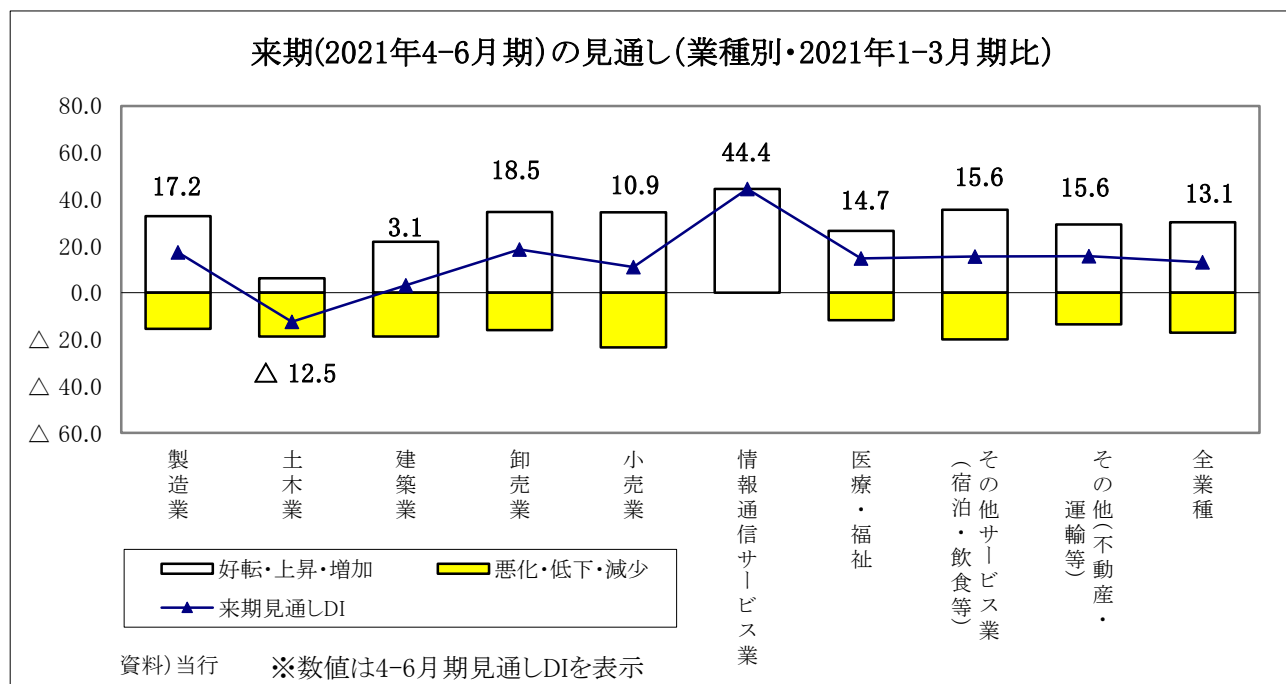


2.来期の見通し(2021年4-6月期の当期比)

- ▶ 来期の見通し業況DIは13.1となり、**業況改善の動き**が見込まれています。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、飲食店などにおいて新型コロナウイルスの感染対策である時短営業要請の解除に伴う業況回復への期待感から売上高(13.2)、採算(11.2)、引き合い(10.5)などで**業況改善の動き**が見込まれています。

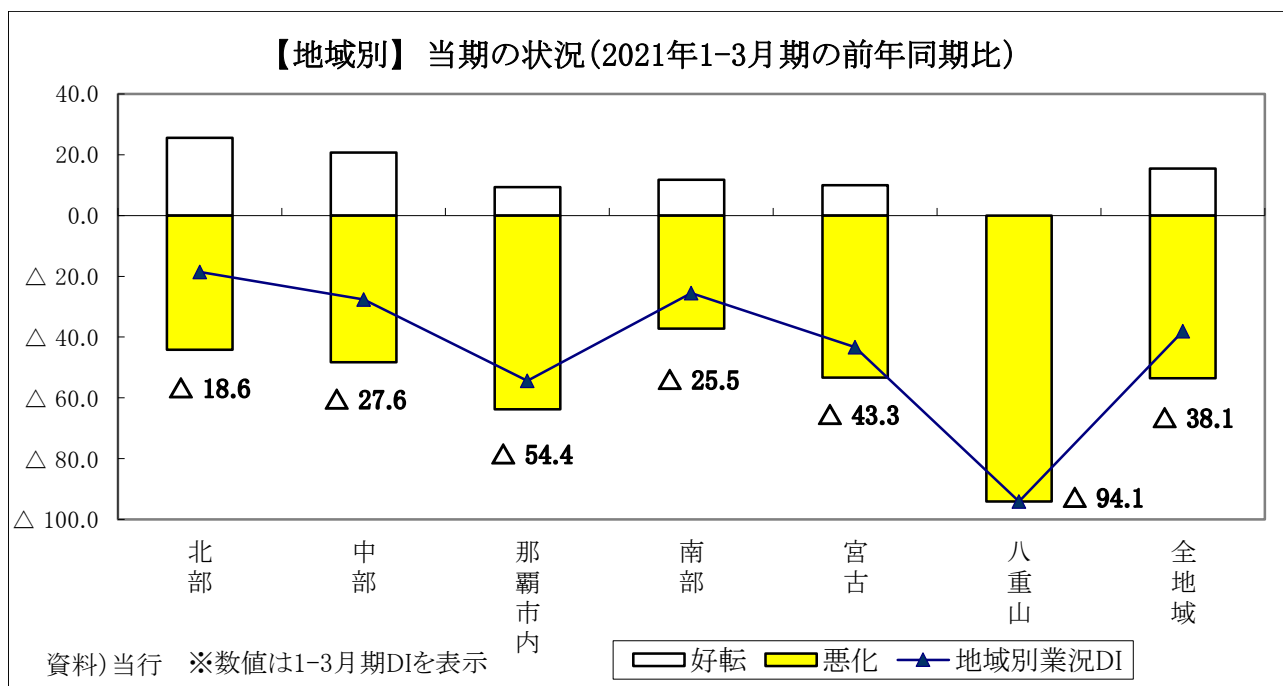


- ▶ 業種別では、全体として**業況改善の動き**が見込まれています。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、業種全般においてワクチンの普及による人出(観光客含む)の回復、リモートワークの定着などから【情報通信サービス業(44.4)】をはじめ、【卸売業(18.5)】、【製造業(17.2)】などで全業種DIを上回る**業況改善の動き**が見込まれます。

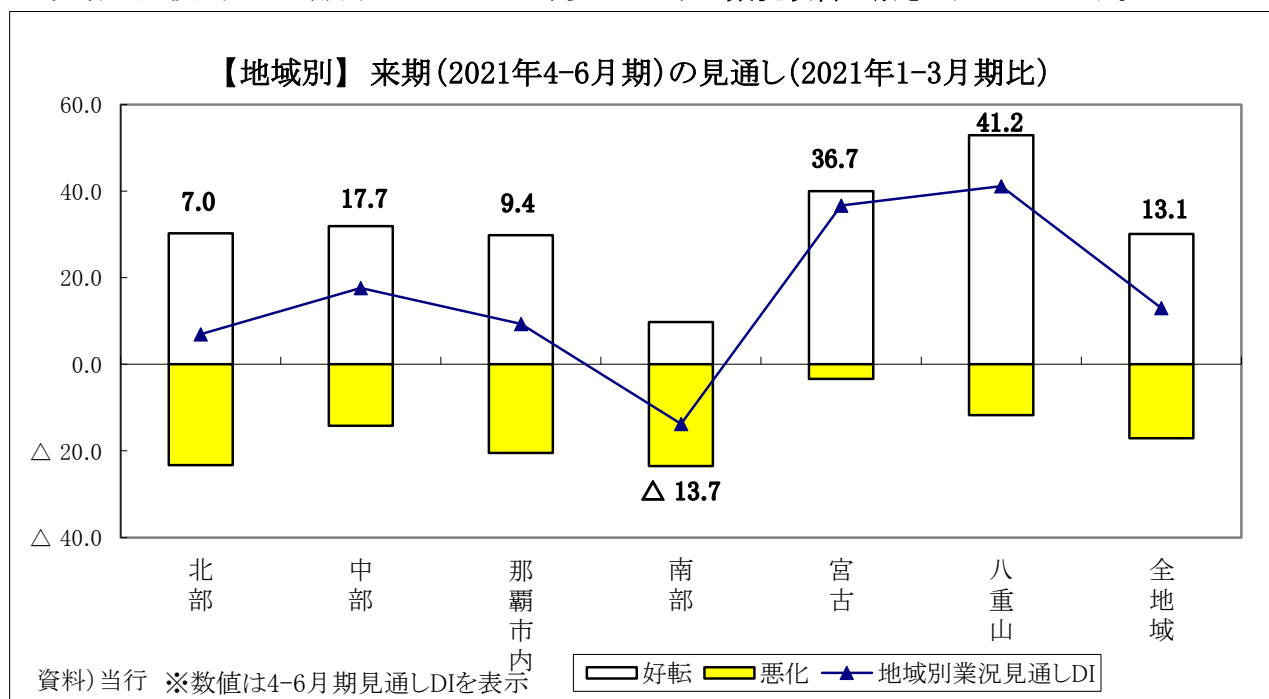


3.地域別の業況 DI

- ▶ 当期の地域別 DI(前年同期比)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各地域で観光関連(宿泊業・飲食業等)において需要が減少していることから、八重山地区(△94.1)、那覇市内(△54.4)、宮古地区(△43.3)など全ての地域で業況に弱さがみられます。



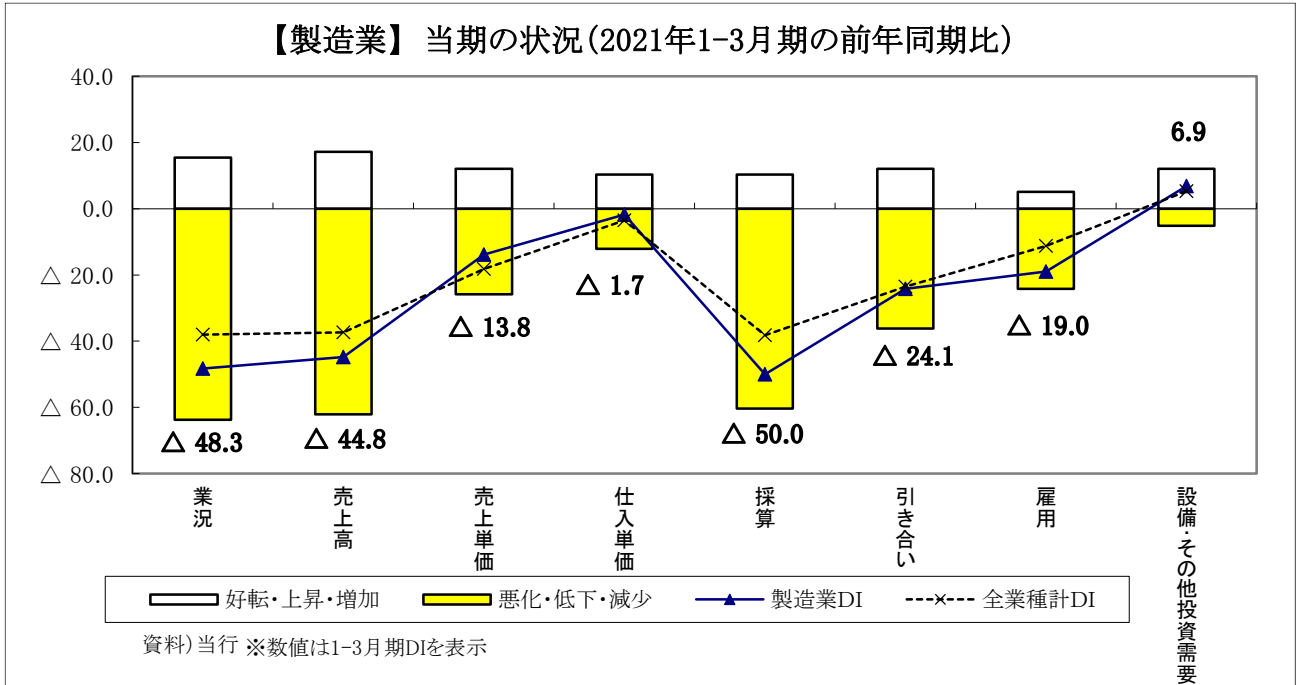
- ▶ 来期の地域別 DI 見通し(当期比)は、多くの地域で業況改善の動きが見込まれています。引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念されるものの、八重山地区(41.2)、宮古地区(36.7)などの観光客の回復を見込む離島エリアをはじめ、多くの地域で業況改善の動きが見込まれます。



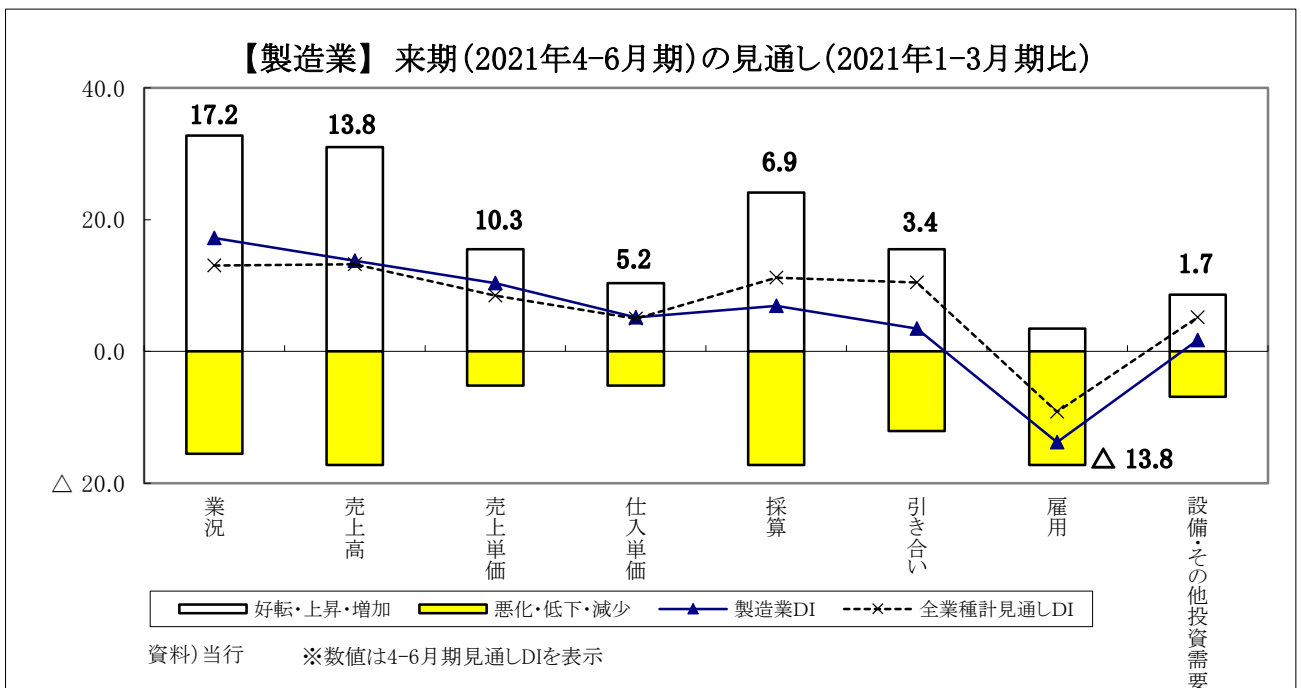
Ⅲ.調査結果(各論)

1. 製造業

- ▶ 当期 DI(前年同期比)は $\Delta 48.3$ となり、全体として業況の弱さがみられます。引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により食品製造業などでは、飲食店、観光関連産業などで需要減から、売上高、採算、引き合いが減少しています。

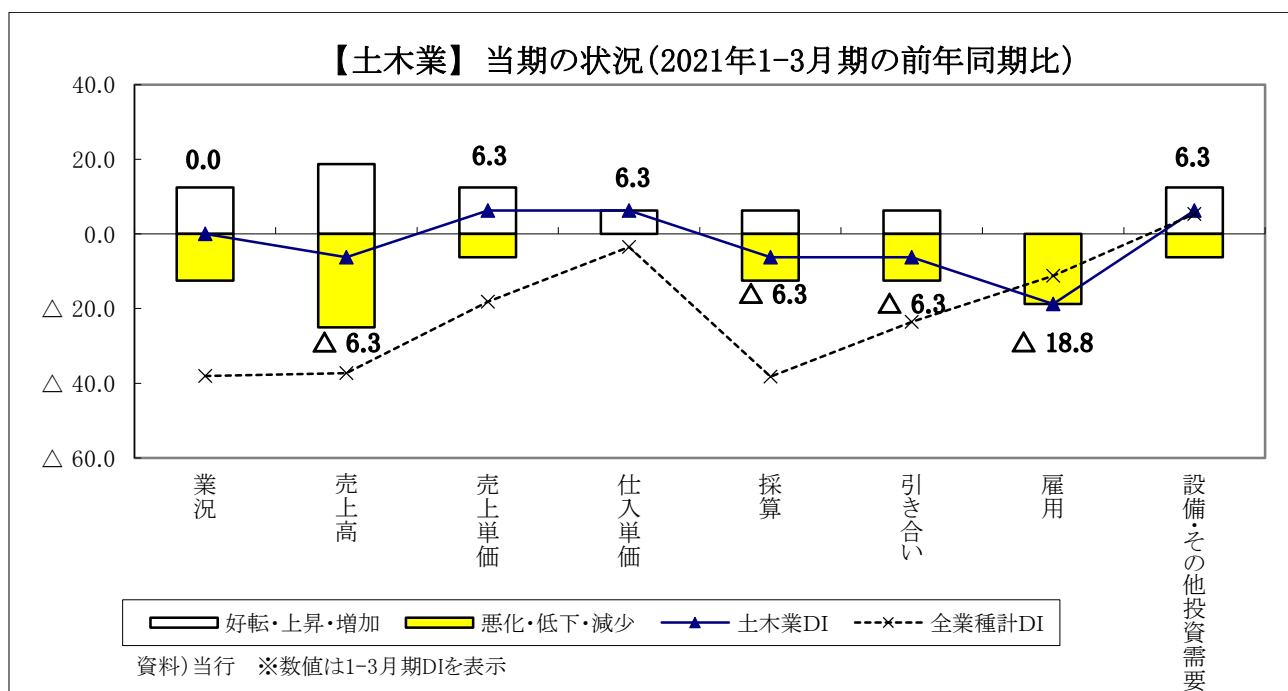


- ▶ 来期の見通しDI(当期比)は17.2となり、全体として業況改善の動きが見込まれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの観光関連産業および巣籠もり需要による消費への期待感などから、売上高、採算、引き合いなどで増加が見込まれます。

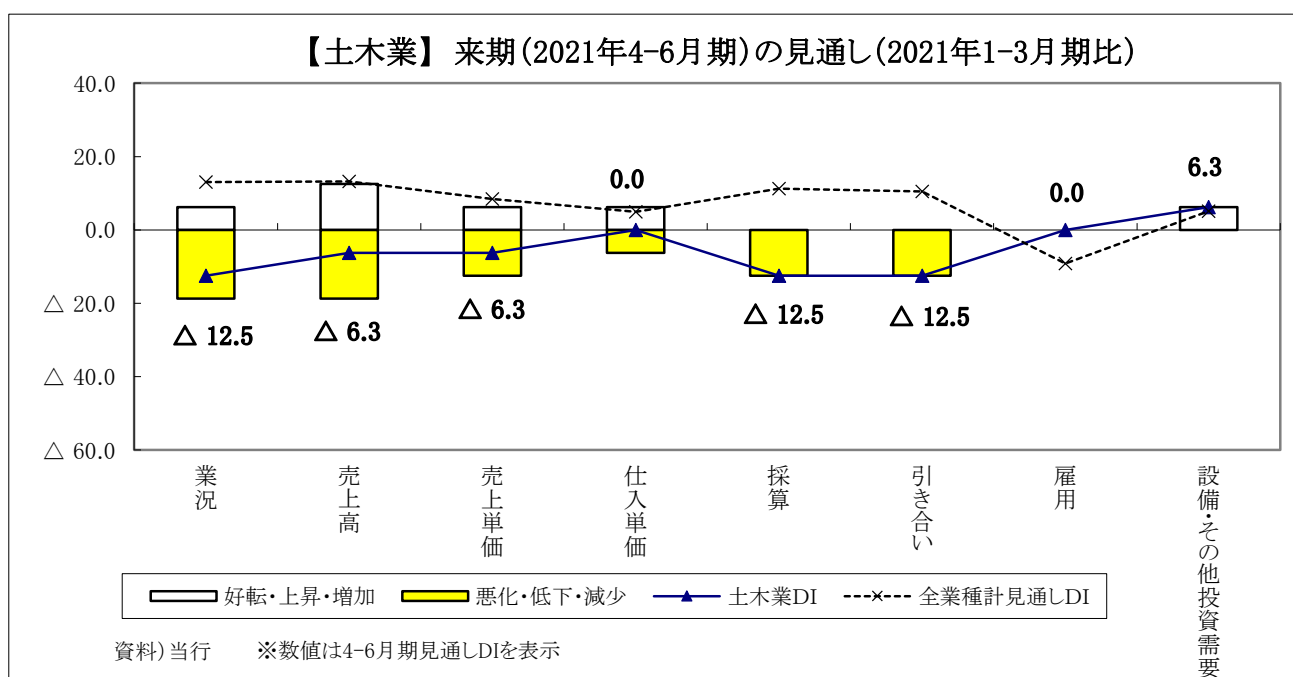


2. 土木業

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は0.0となり、全体として業況の動きは横ばいです。新型コロナウイルス感染拡大の影響による工事受注の減少などから売上高、採算、引き合いなどが減少しています。一方で、一部では人手不足による雇用の確保を懸念する事業者もみられます。

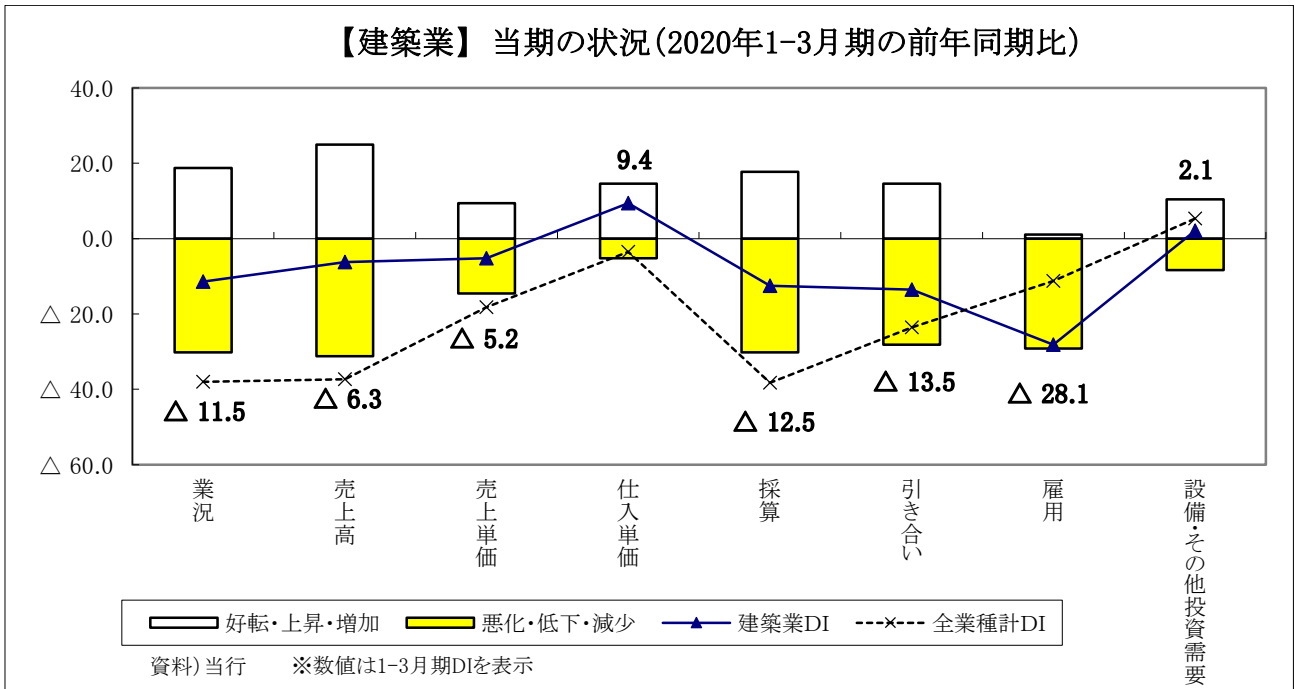


- ▶ 来期の見通しDI(当期比)は△12.5となり、全体としては業況の弱さが見込まれます。引き続き公共工事の安定的な受注が期待される一方、一部では、年度初めにあたり工事の減少に伴う季節的要因などから売上高、採算、引き合いなどで減少が見込まれます。

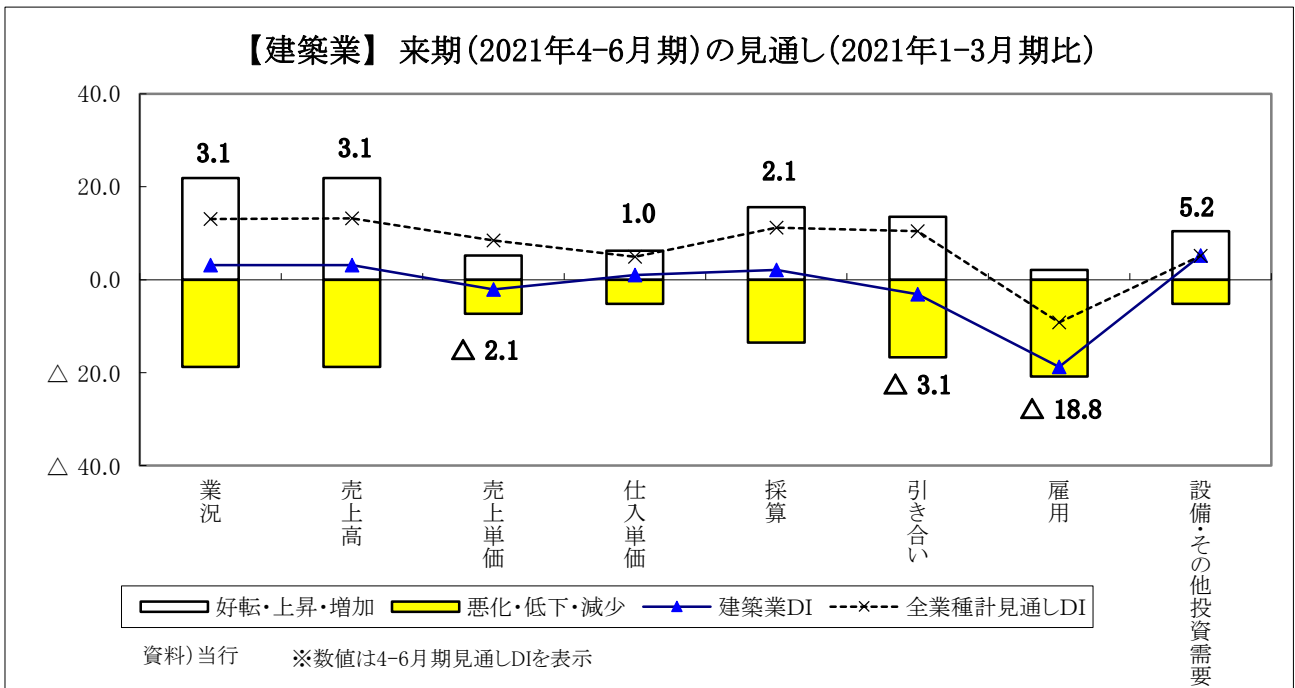


3. 建築業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 11.5$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響による工事受注の減少、資材価格の高止まりなどから、売上高、採算、引き合いが減少しています。一方、人手不足による雇用の確保を懸念する事業者が一部でみられます。

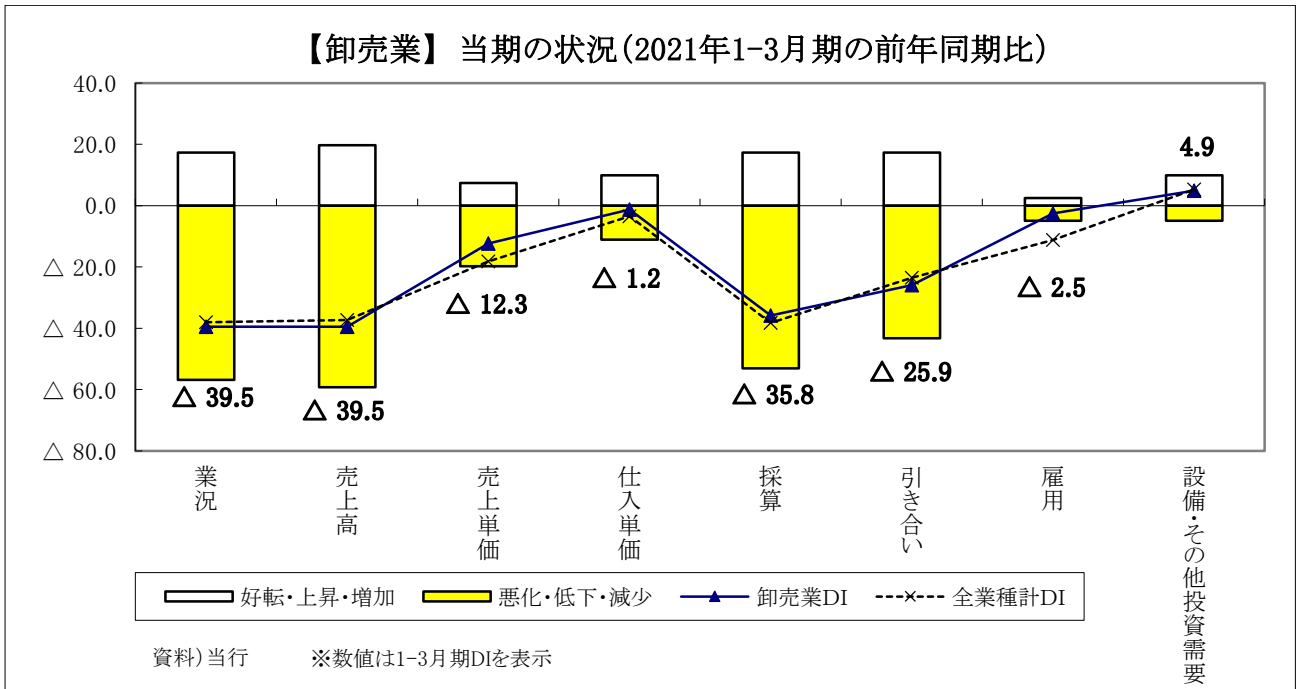


- ▶ 来期の見通し DI(当期比)は 3.1 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。公共工事の受注の好調などから売上高、採算などの増加が見込まれます。一部では人手不足による雇用の確保を懸念する事業者もみられます。

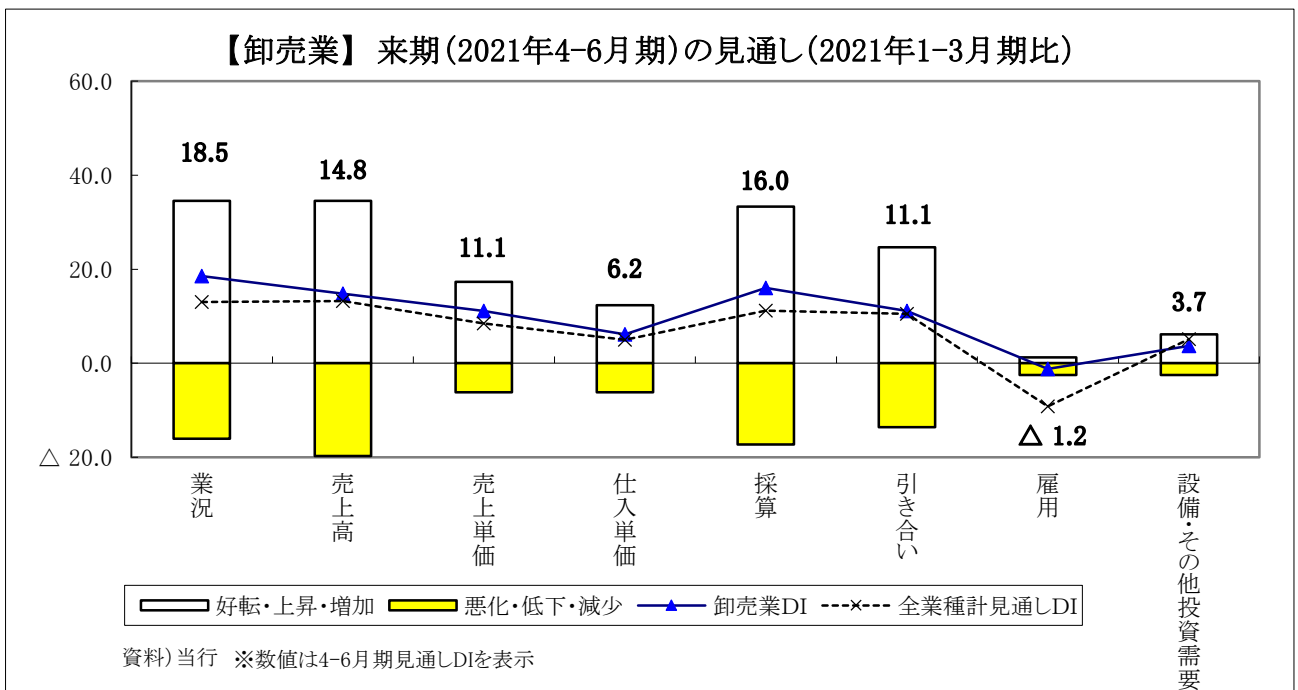


4. 卸売業

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 39.5$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響により食品卸売業や観光関連卸売業などでは、売上高、採算、引き合いなどで減少がみられます。

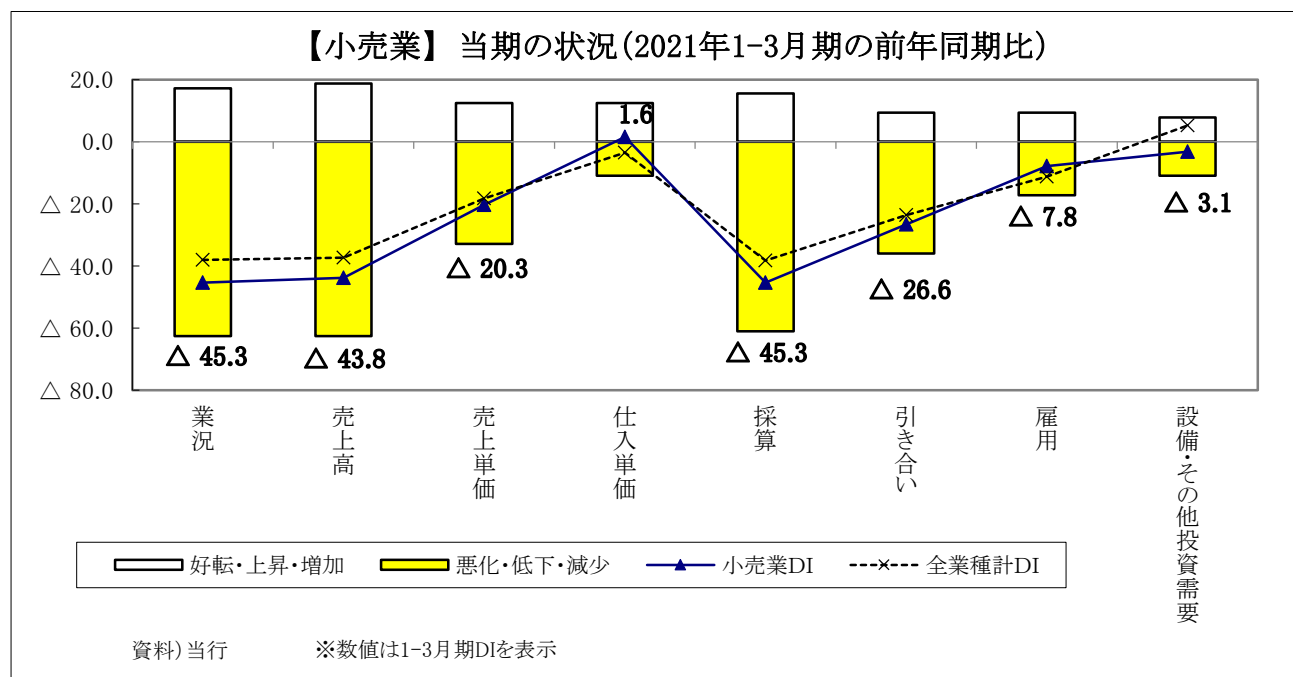


- ▶ 来期の見通し業況DI (当期比) 見通し業況DIは 18.5 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、緊急事態宣言解除に伴い飲食店への客足の戻り期待から食品卸売業などにおいて、また巣籠もり需要から雑貨卸売業において売上高、採算、引き合いの増加が見込まれます。

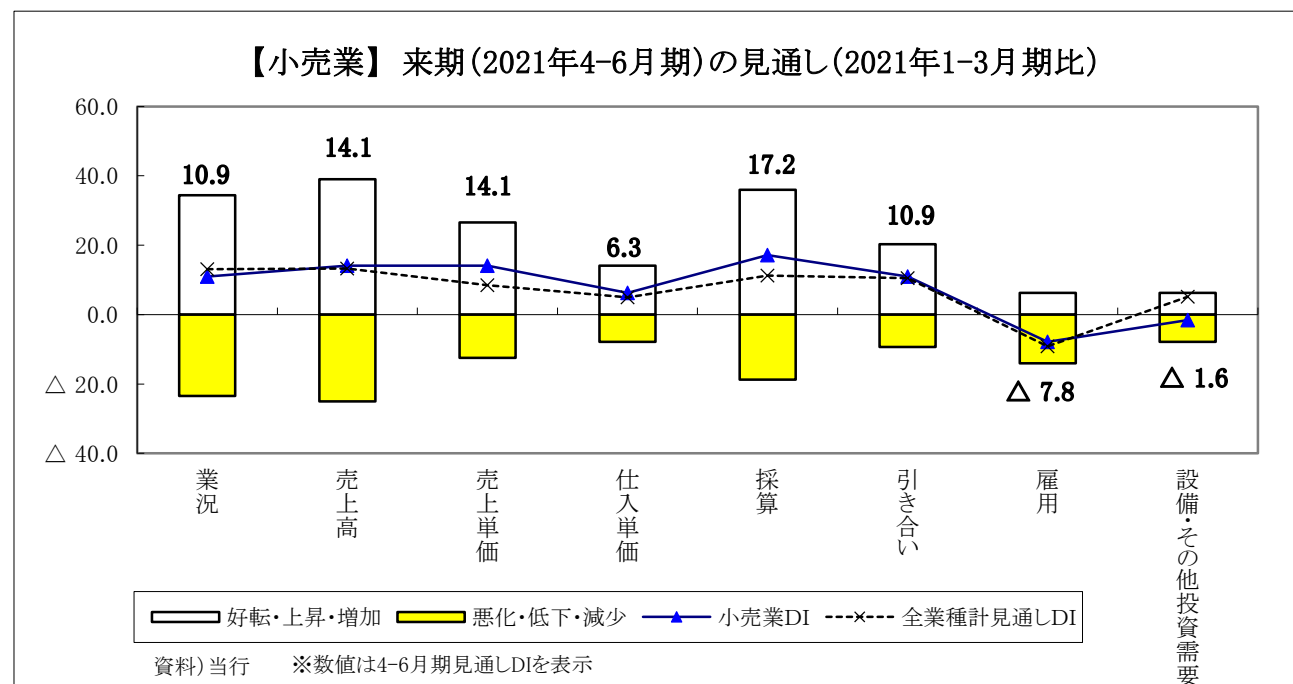


5. 小売業

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 45.3$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光土産品小売業やコンビニエンスストアなどで売上高、採算、引き合いなどで減少がみられます。

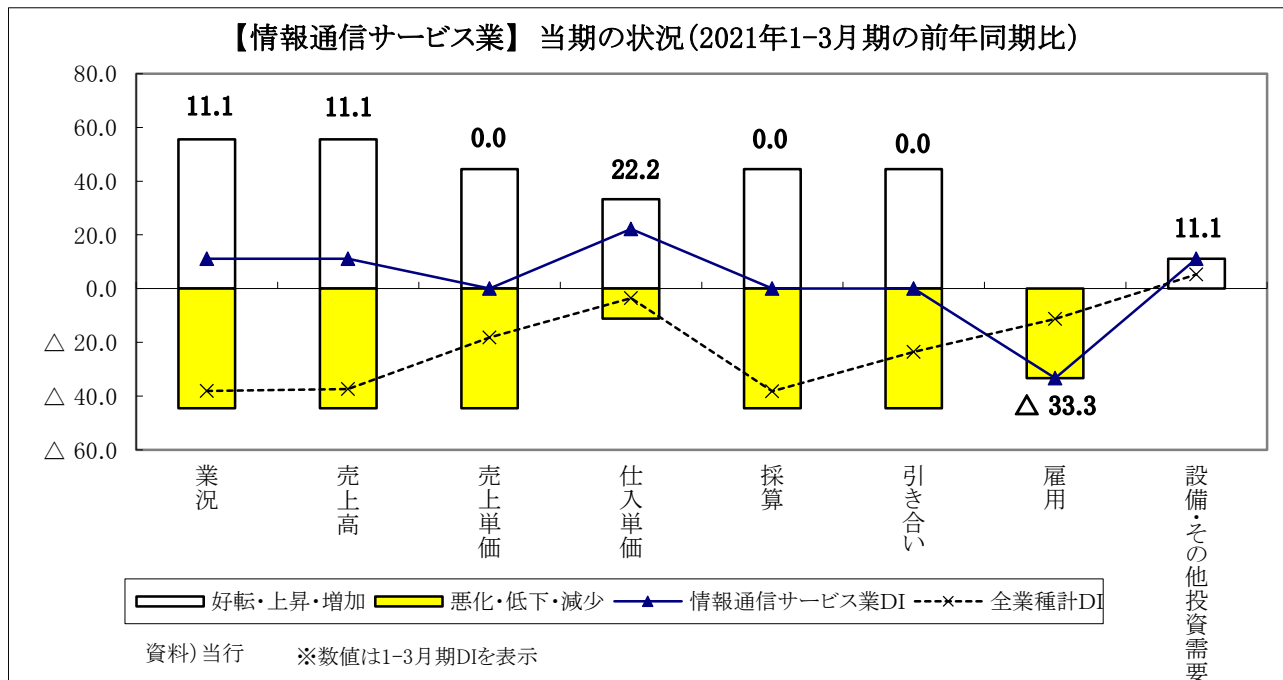


- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は10.9となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。緊急事態宣言の解除、営業時間の自粛解除により、飲食店やホテルなどへの人出の回復期待から売上高、採算、引き合いなどで増加が見込まれます。

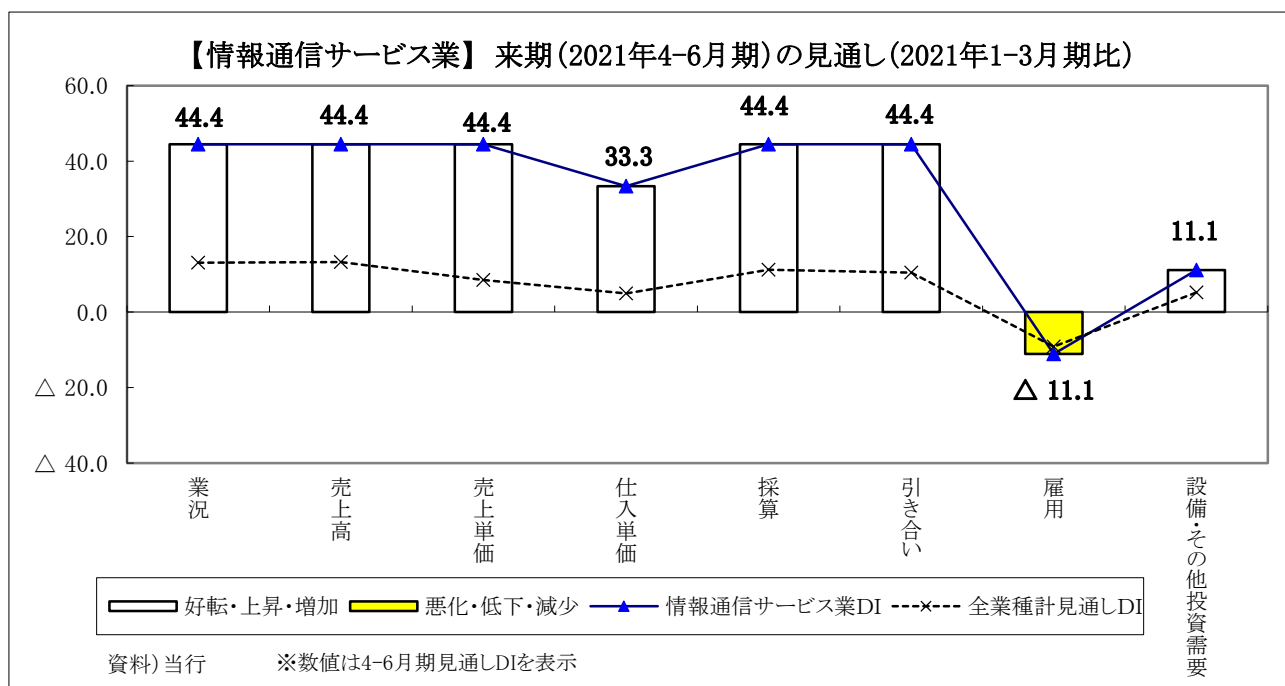


6. 情報通信サービス業

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は11.1となり、全体として業況改善の動きがみられます。ネットワーク構築等のシステム開発業では、GIGAスクール構想(文部科学省が進める児童生徒に1人1台端末)および「高速大容量の通信ネットワーク」の構築)を見据えた市町村からの業務受注などに伴い、売上高などが増加しています。

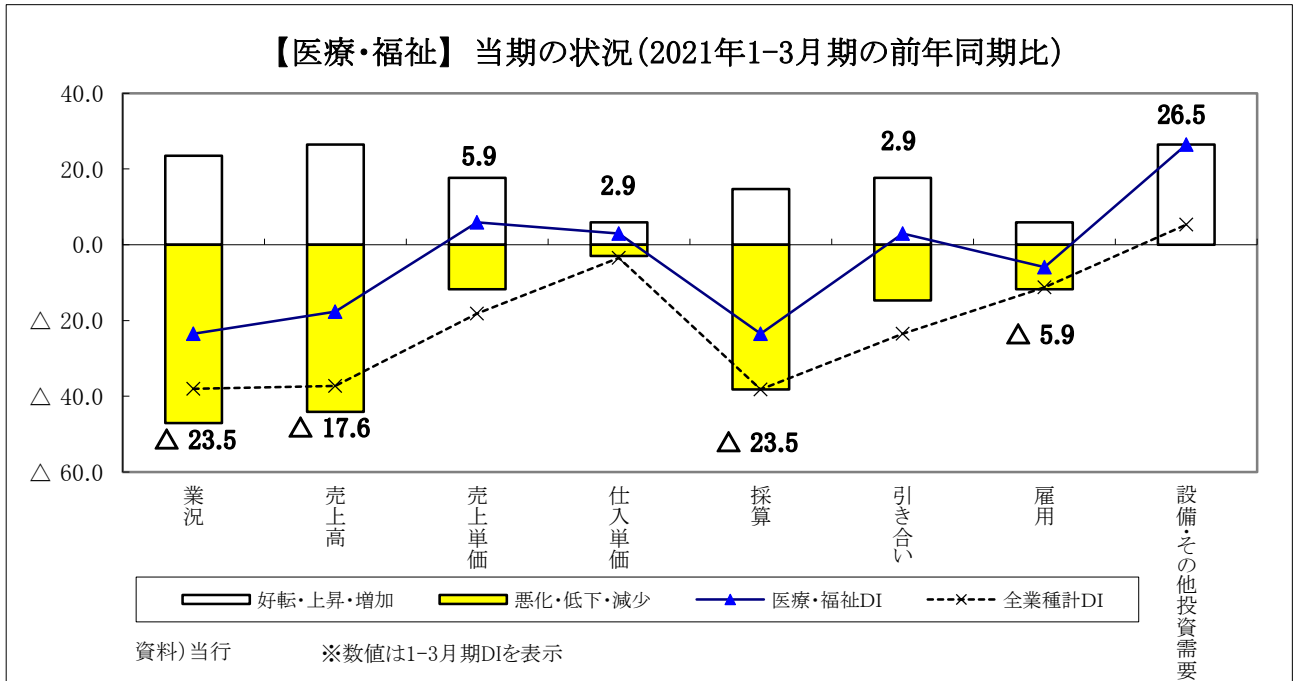


- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は44.4となり、全体として業況改善の動きが見込まれます。引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、GIGAスクール関連業務の継続やリモートワークの定着などにより、売上高、採算、引き合いの増加が見込まれます。

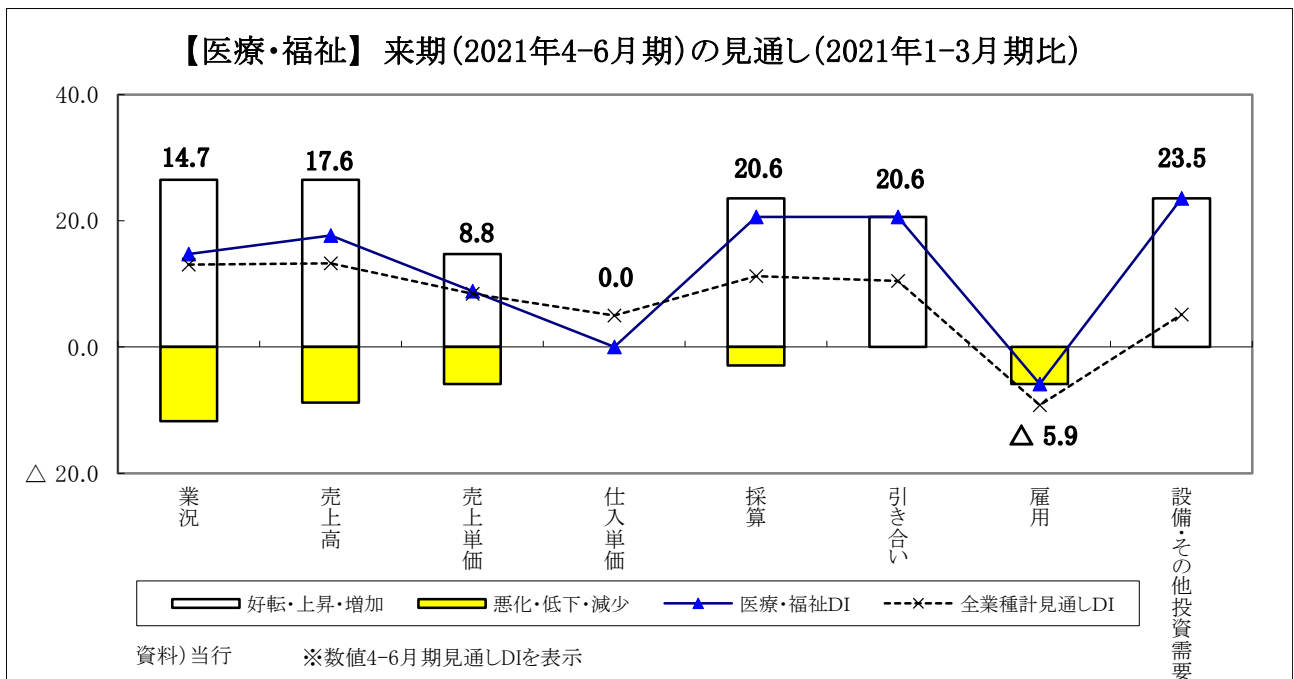


7. 医療・福祉

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 23.5$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い病院やクリニックなどで来院患者の減少、受診控え、また訪問介護事業およびデイサービス事業などでも利用者の減少などから売上高、採算などにおいて減少がみられます。またPCR検査、今後のワクチン接種対応、介護従事者の人手不足など雇用の確保を懸念する事業者もみられます。

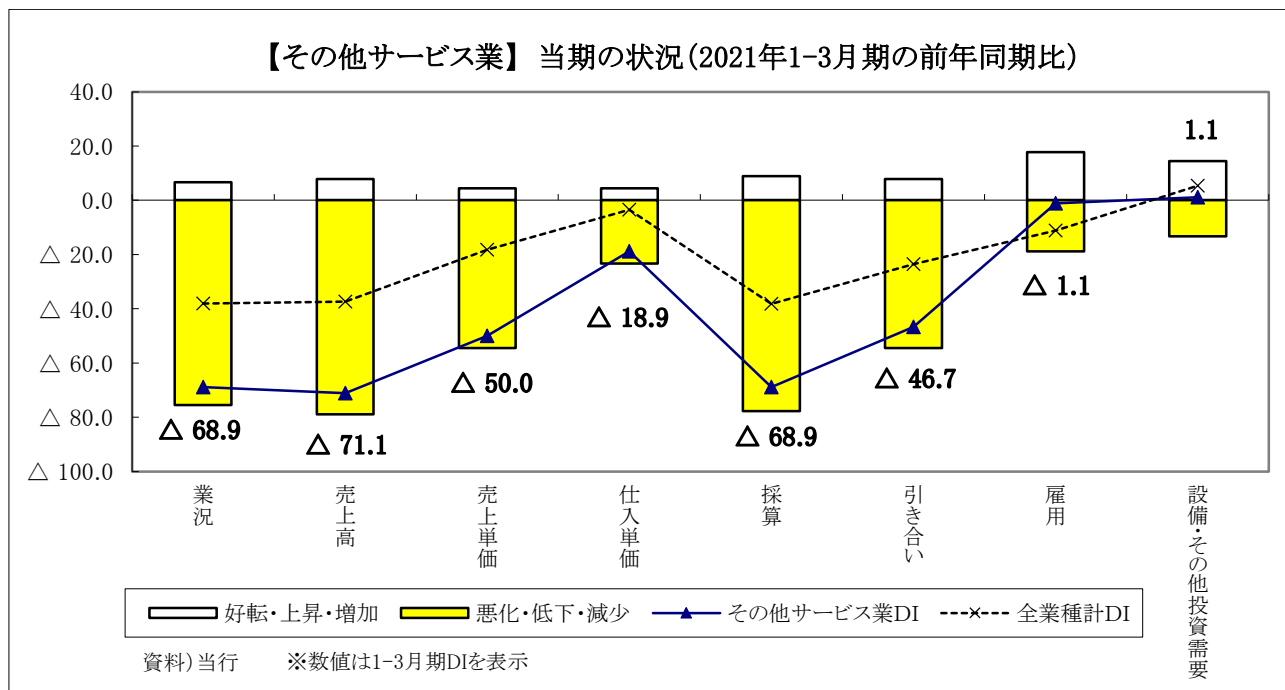


- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は14.7となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。緊急事態宣言解除に伴い病院、介護事業などへの利用者の増加見込みから売上高、採算、引き合いの増加が見込まれます。

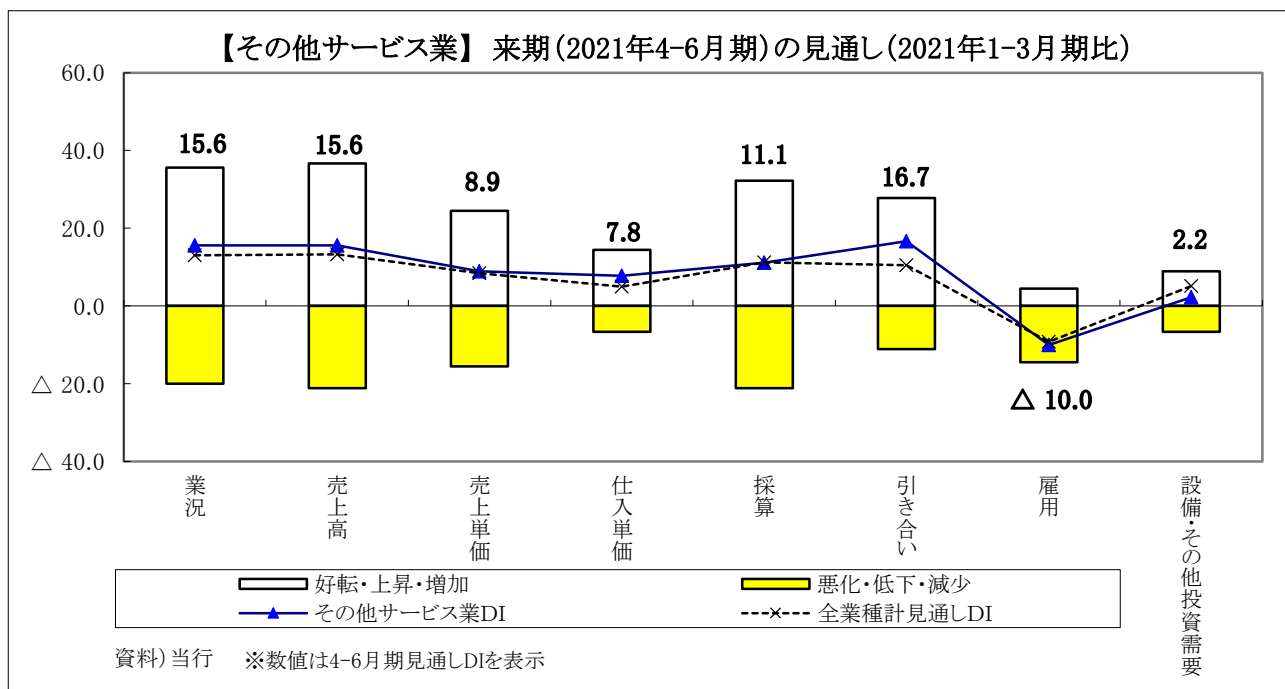


8. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連など)

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 68.9$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い宿泊業、観光施設、旅行業、飲食業などにおいて売上高、採算、引き合いが減少しています。

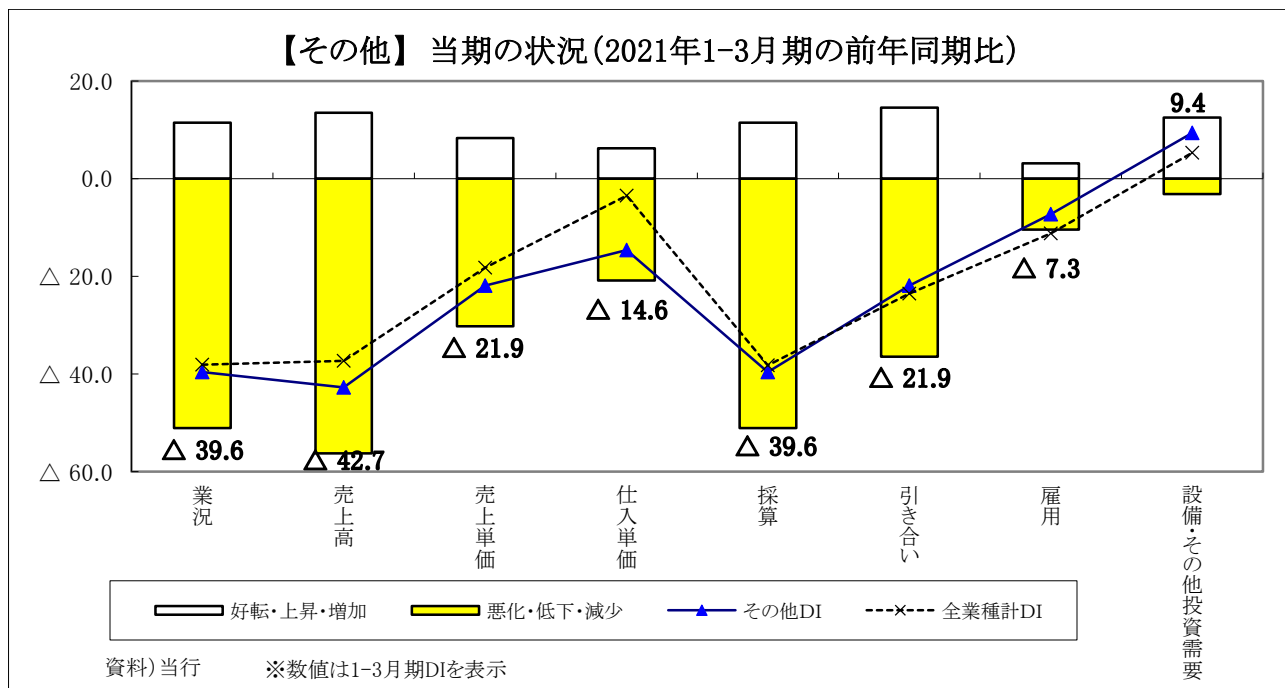


- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は15.6となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。宿泊業、観光施設、旅行業、飲食業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う懸念はあるものの、緊急事態宣言解除、またワクチンの接種が進み、各種旅行キャンペーンの再開期待から売上高、採算、引き合いなどにおいて増加が見込まれています。

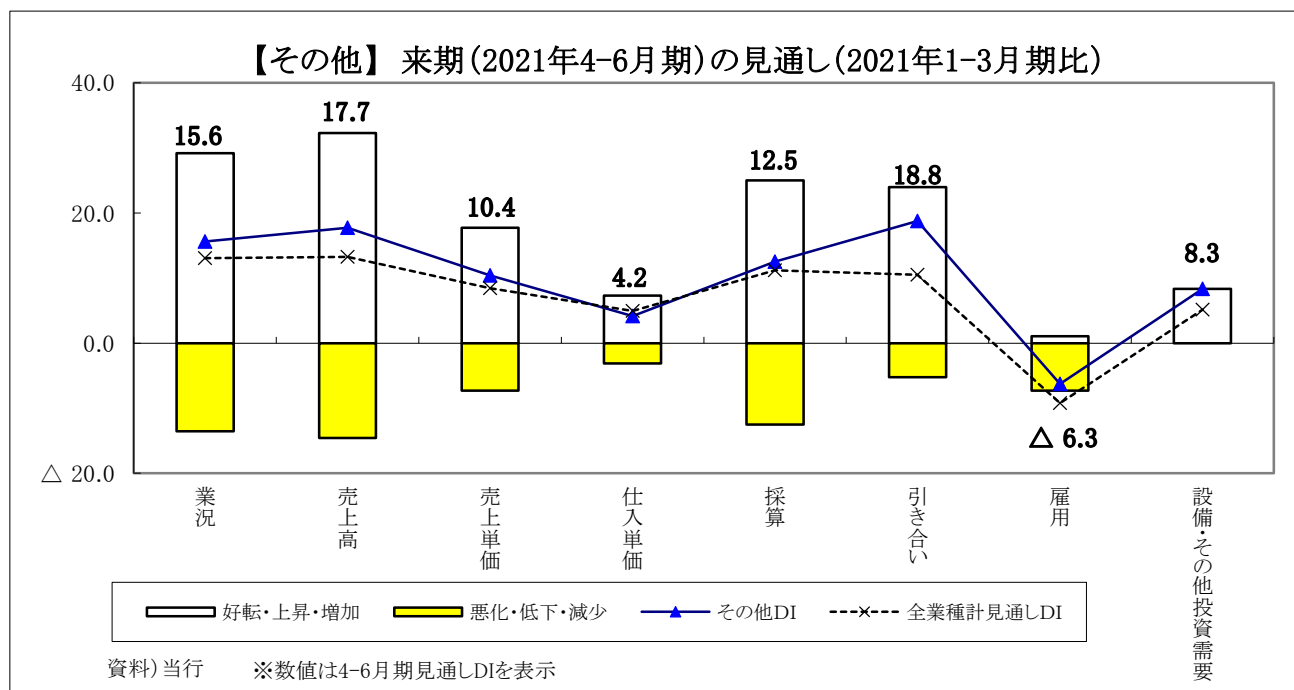


9. その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 39.6$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。運輸業(タクシー、フェリー)、レンタカー業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少等により売上高、採算、引き合いが減少しています。



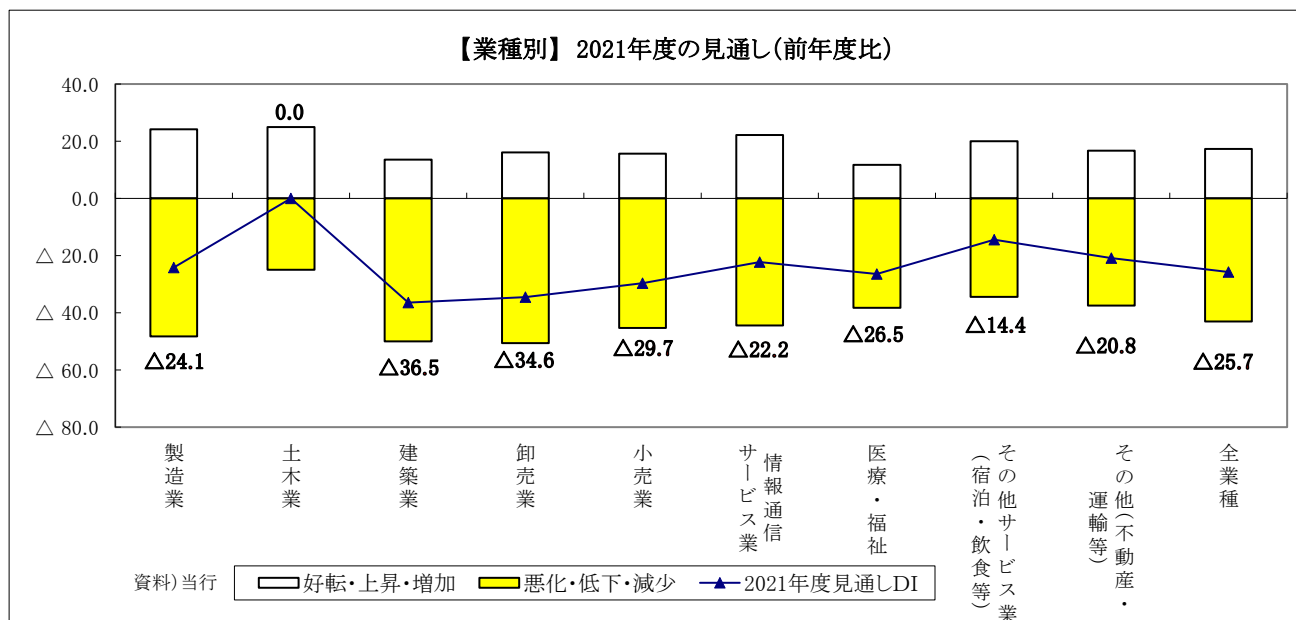
- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は 15.6 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。運輸業(タクシー、観光バス)、レンタカー業などでは、引き続き新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響はあるものの、緊急事態宣言解除後の観光客の戻り期待から売上高、採算、引き合いの増加が見込まれています。



IV.調査結果 2021 年度の見通しDI(2020年度比)

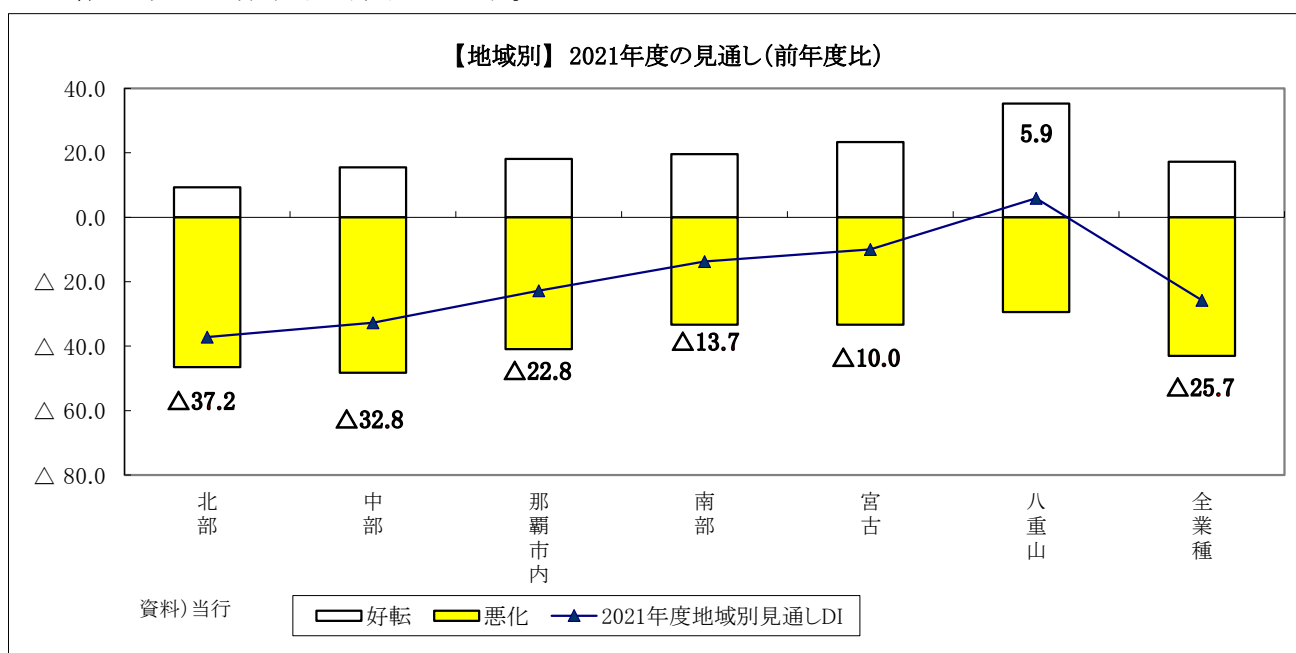
1.業種別見通し

2021 年度業種別見通しは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少や先行きの不透明感により、**建築業、卸売・小売業**をはじめ、**製造業**など多くの業種において 2020 年度と比較して**業況の弱さ**が見込まれています。



2.地域別見通し

2021 年度地域別見通しは、八重山地区を除く本島及び宮古地域で**業況の弱さ**が見込まれます。**本島(中部、那覇市内、南部)**及び**宮古地区**ともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要の減少が見込まれることなどから、**業況の弱さ**が見込まれています。八重山地区では大型公共工事の受注を見込み売上の増加を見込む業者も一部みられます。



V.まとめ(総括)

➤ 【当期の業況DI】

当期(2021年1-3月期)の業況DIは $\Delta 38.1$ (前年同期比)となり、業況の弱さがみられます。観光関連(宿泊、飲食業、観光施設、旅行業等)では、前期に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減により売上高・採算・引き合いが減少しています。団体客や修学旅行のキャンセルによる影響を受けている事業者が多数みられます。製造業(食品製造業など)では、飲食店や商業施設等においても同様に売上が低迷し、売上高・採算・引き合いが減少しています。小売業(衣料品販売、コンビニエンスストアなど)では、観光客の需要減少等により売上高・採算・引き合いの減少が顕著になっています。卸売業(食品卸売、観光土産品卸売など)でも同様に、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴うホテル・飲食店からの需要が減少しています。建設関連(土木、建築など)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響による工事受注の減少や資材価格の高止まり等から売上高・採算・引き合いなどが減少しています。以上のことを踏まえ、全体として業況の弱さがみられます。

➤ 【来期の見通し業況DI】

来期(2021年4-6月期)の見通し業況DIは13.1(当期比)となり、業況改善の動きが見込まれます。観光関連では、引き続き新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響への懸念はあるものの、緊急事態宣言解除による各種旅行キャンペーン策への再開期待から売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。卸・小売業(食品・雑貨など)においても、緊急事態宣言解除による客足の戻りや自宅待機や自粛期間の長期化による巣籠もり需要から売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。

情報通信サービス業(ネットワーク構築など)においても新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるもののリモートの定着などから売上高・採算・引き合いなどで安定した増加が見込まれます。

一方、足許では、再び新型コロナウイルス感染拡大の第四波の発生が懸念され、感染者は再び首都圏をはじめ、県内でも増加傾向にあります。今後も先の見えない景気の不透明感が懸念され、引き続き景気の先行きに対し慎重な見方が必要です。

➤ 【来年度の見通し業況DI】

来年度(2021年度)の見通し業況DIは $\Delta 25.7$ (2020年度比)となり、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少や先行きの不透明感により、多くの業種において業況の弱さが見込まれています。

観光関連では、宿泊業や飲食業において需要の減少が見込まれるほか、製造業では食品製造業などにおいて観光客減少やホテルの仕入れ減少により、売上高・採算・引き合いの減少が見込まれます。小売業も同様に、衣料品販売、コンビニエンスストア、観光土産品販売などにおいて観光客および来店客数減少などにより、売上高・採算・引き合いの減少が見込まれます。建設関連(土木、建築など)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響による中国などからの建築資材の高止まりや入荷を懸念する事業者がみられるなど、年度を通し全体として業況の弱さが見込まれます。